

銀行名	足利銀行
タイトル	6次産業化成長応援ファンドを利用した地域ブランドの向上に係る取組
取組み内容	<p>下記取組により地域ブランドの向上に係る取組を実施した。</p> <p><b>【ビジネスモデル】</b>  農林漁業者 A 社、加工技術・販路の提供を担うパートナー企業 B 社、「とちまる 6 次産業化成長応援ファンド」の 3 者が出資し、6 次産業化事業体 C 社を設立し事業展開を行った。</p> <p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6 次産業化事業体 C 社が、A 社を中心とする農畜産事業者が提供する足利マール牛、アスパラガス、二条大麦といった多様な農畜産物の加工・販売を担い、農畜産物の付加価値向上、雇用創出に結びつける。</li> <li>・ B 社の通販チャンネルを活用し農畜産物加工食品を全国の消費者へ供給するとともに、C 社が「カフェサービス」という店舗チャンネルにて足利農畜産物の魅力を消費者へダイレクトに発信。</li> </ul> <p>「マール」とはワイン用ブドウの果皮や種の絞りかすのこと。A 社では地元ワイナリーの提供するマール二条大麦粉を加え発酵させた飼料を使い肉牛を成育しブランド化を図っている。</p>

銀行名	足利銀行
タイトル	A B L を活用した経営改善支援事例
取組み内容	<p>&lt; 事例 1 &gt;</p> <p><b>【経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品製造業（年商 50 億円、業歴 42 年）を営む A 社は、借入過多から債務超過となり前年まで事業再生支援先であったが、今期は債務超過解消を受けて次なる事業革新（新工場建設）を視野に入れていた。</li> <li>・しかし、流動資産 10 億円に対し流動負債 5 億円と経常運転資金が必要な状況下、取引金融機関 9 行からの借入金 10 億円の全てを長期で調達していたことから、常時借り換えが発生し、不動産担保枠も保証協会枠も一杯で新規調達余力は限られていた（年間約定返済額 260 百万円 &gt; 当社キャッシュフロー 130 百万円）。</li> <li>・結果、資金繰り多忙となり支払利息負担から業績改善が遅れる一方、業績改善に向けた工場新設を検討するも資金繰り多忙を背景に新規調達に二の足を踏んでいた。</li> <li>・また、事業承継後間もないなか、新社長は 10 億円の個人保証を重責に感じていた。</li> </ul> <p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続を前提とした課題解決型 ABL の提案を行い、在庫評価に関して応諾を得た。</li> <li>・簿価 200 百万円に対し、流通価格 537 百万円、処分価格 250 百万円の評価結果を得たことから、ABL を活用したシ・ローン組成により借入金の長短バランス改善、取引金融機関集約をはかり、キャッシュフロー弁済実現を支援した（ABL 実施後年間返済額 100 百万円 &lt; 当社キャッシュフロー 130 百万円）。ABL 取り組みにより預金担保解除も可能となり、資金効率の向上もはかることができた。</li> <li>・結果として、新社長は積極経営に転じ事業革新資金調達導入の具体的検討を行うに至り、ABL 実行に伴う個人保証解除は事業承継後のスムーズな事業継続を可能とした。</li> </ul> <p><b>【所見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の事例はメイン行不在の中、多くの金融機関から担保・保証に過度に依存した長期資金を調達してしまった中小企業に対し、真正面から向き合い、事業性評価に基づくソリューションを提案し、事業革新、事業継続発展を強力に後押しした事例。地域中小企業の活性が支援から地方創生につながる取組みでもある。</li> </ul>

取組み内容

<事例2>

【経緯】

- ・ A社は某耐久消費財の小売業者。取扱商品は昨今「良品の高額化」「普及品の低品質化・値崩れ」の両極化が進んでいる。
- ・ A社は黒字基調・資産超過だが、良品の品揃えのため借入金が多額となるとともに収益は低迷、更に分割返済条件の借入金増加が資金繰りを圧迫し、金融機関に元金返済の一時棚上げ要請をするに至った。

【内容】

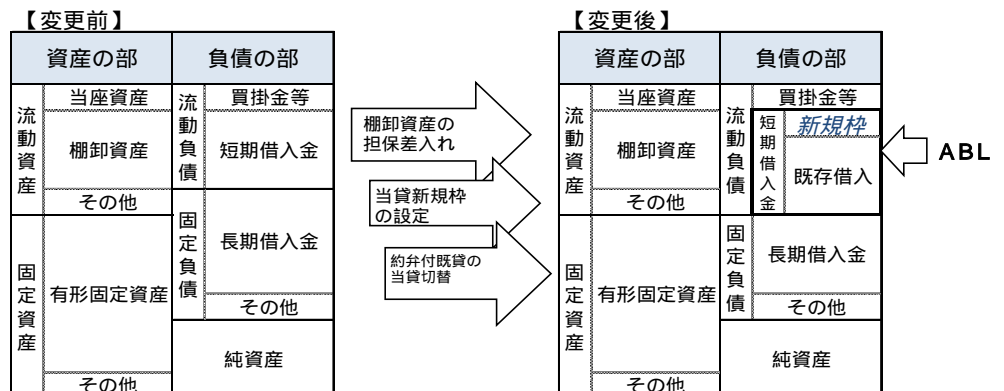
- ・ 棚卸資産の圧縮を申し出たA社に、当行は「強みである良品を品薄にして良いか？」との疑問をもち「棚卸資産の評価取得」を提案。A社は初め外部機関の関与に懐疑的だったが、検討の結果「商品戦略に活かせる」と了承。
- ・ 評価会社による棚卸資産の評価は「売り急がず適正価格で販売した場合には十分に価値が認められる」ものであった。当行はABLにより得られる情報の「商品戦略への活用」に加え「既存借入金の当座貸越への切替えによる返済軽減」および「季節商材仕入等に対応する新規与信枠設定」を提案、A社快諾の上でそれらを含む経営改善計画の作成を支援することになった。

【結果】

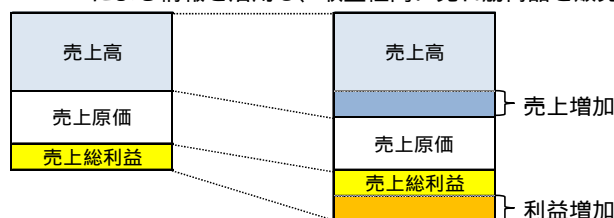
- ・ ABLの活用により、ストック（バランスシート）の改善を即時実施するとともに、モニタリングから得られる情報を商品戦略に活かすことでフロー（損益）の改善を図る仕組みを構築。
- ・ 当行はメイン企業であるA社との信頼関係強化とともに、信用格付の回復による債権劣化防止と信用コスト低減をそれぞれ実現することができた。

<取組みイメージ>

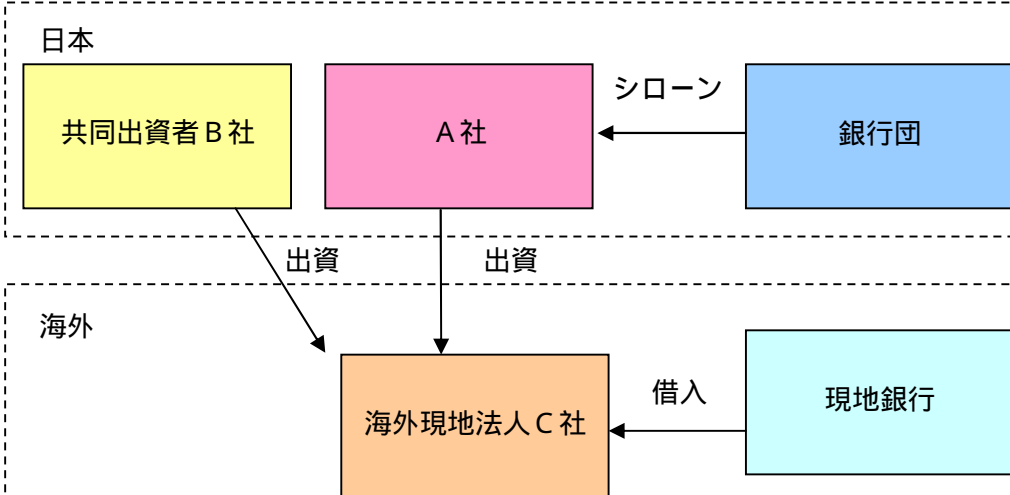
- ・ ABLにより、新規当座貸越枠設定および既貸の経常扱当座貸越切替を実施  
 効果： 新たな与信枠の設定  
 約定返済金額の軽減  
 長短バランスの実質的な改善(流動比率、固定長期適合率)



- ・ ABLによる情報を活用し、収益性高い売れ筋商品を販売強化



銀行名	足利銀行
タイトル	「事業性評価」に係る取組み
取組み内容	<p><b>【取組内容】</b>          当行では、「事業性評価」の取組みの一環として、本部において、各エリアの中核店舗の取引先の中から取引先を選定（基準：地域経済における中核企業、雇用に貢献、当行がメイン行、貸出残高上位先等）し、営業店は選定された取引先について、「事業性評価シート」を作成（現在までの作成先：255 先）し個別取組方針を決定している。</p> <p>事業性評価シート：「事業概要」「内部環境（強み・弱み）」「外部環境（機会と脅威）」を分析し、「今後の戦略と必要な取組」を検討、その後、「事業性評価結果」と「当行から提案すべき事項」を纏める資料</p> <p>事業性評価に必要となる取引先企業に対する「目利き力」の向上を図るために、以下の取組みを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支店長レベル向けに外部講師による研修</li> <li>・審査所管部のリスクマネージャーを中心とした営業店臨店指導</li> <li>・審査所管部による行内トレーニーの受入による人材の育成</li> </ul> <p><b>【効果】</b>          事業性評価シートを纏めることにより取引先企業の成長可能性や経営課題等が明確となり、成長・改善のための融資取組や提案に反映させることで取引先とのリレーション強化に繋がる。</p>

銀行名	足利銀行
タイトル	取引先の海外進出支援事例
取組み内容	<p><b>【経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A社は、主要取引先からの要請を受け、同社で初となる海外進出の検討を開始。</li> <li>・ 総事業費が100億円を超える大規模なプロジェクトであることから、資金調達方法を中心とした海外進出全般に関してA社から相談を受けた。</li> <li>・ また、同業のB社との合併により、本件海外進出を検討していることから、B社との連携に関するサポート依頼があった。</li> </ul> <p><b>【具体的な支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内外の弁護士や公認会計士など外部の専門家と連携し、B社との共同出資による海外現地法人C社の設立、事業計画の策定等を支援。</li> <li>・ 当行がアレンジャー兼エージェントとして、地元金融機関と協調してA社に対するシンジケートローンを組成し、C社への出資金調達をサポート。</li> <li>・ シンジケートローンは、C社からの配当金等により返済を受ける貸出と、長期間返済を据え置き、元金返済が実質的にに劣後する貸出に分け、をメインの当行が引き受けることで、他の金融機関が参加しやすい仕組みとし、円滑に組成。</li> </ul> <p><b>【取組の結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部の専門家を活用することで、主要取引先の要望するスケジュール・形態通りに海外現地法人を設立し、実現可能性の高い事業計画の策定を行うことができた。</li> <li>・ 出資金や海外現地銀行からの借入など資金調達面、B社との役割分担など事業運営面を含めプロジェクト全般に当行が関与することで、スムーズに事業を開始できた。</li> </ul> <p><b>【スキーム】</b></p>  <pre> graph TD     subgraph Japan         B[共同出資者 B社]         A[A社]         Bank[銀行団]         A -- シローン --&gt; Bank     end     subgraph Overseas         C[海外現地法人 C社]         Local[現地銀行]         C -- 借入 --&gt; Local     end     B -- 出資 --&gt; C     A -- 出資 --&gt; C   </pre>

銀行名	足利銀行														
タイトル	取引先の販路拡大支援事例														
取組み内容	<p><b>【経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行は、食品関連の取引先の販路拡大を支援するため、食品に関する展示・商談会を積極的に開催している。</li> <li>・ 近年、北関東自動車道の開通などにより、栃木県、群馬県、茨城県の商流、物流が活発化する中、より広範囲の地域連携・販路拡大を支援するため、群馬銀行、常陽銀行と連携した商談会開催の検討を開始。</li> </ul> <p><b>【具体的な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 27 年 6 月 4 日、当行、群馬銀行、常陽銀行が初めて共同で主催し、食品に関する展示・商談会「アグリフードフェスタ 2015in 宇都宮」を開催。</li> </ul> <p>開催概要</p> <table border="1" data-bbox="464 913 1434 1323"> <tr> <td>名称</td> <td>アグリフードフェスタ2015in宇都宮</td> </tr> <tr> <td>日時</td> <td>平成27年6月4日（木）10：00～16：00</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>マロニエプラザ（宇都宮市元今泉6-1-37）</td> </tr> <tr> <td>主催</td> <td>足利銀行、群馬銀行、常陽銀行</td> </tr> <tr> <td>後援</td> <td>栃木県、群馬県、茨城県、 経済産業省 関東経済産業局、農林水産省 関東農政局</td> </tr> <tr> <td>出展規模</td> <td>320社</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>出展企業による食材・食品の展示、試食の提供 出展企業とバイヤーの個別商談会</td> </tr> </table> <p><b>【取組の結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催当日は、3,200 名が来場し、活発な商談が行われた。</li> <li>・ 事前予約制の個別商談会では、185 社のバイヤーと出展企業の間で約 470 組の商談が行われ、取引先の販路拡大に貢献した。</li> </ul>	名称	アグリフードフェスタ2015in宇都宮	日時	平成27年6月4日（木）10：00～16：00	会場	マロニエプラザ（宇都宮市元今泉6-1-37）	主催	足利銀行、群馬銀行、常陽銀行	後援	栃木県、群馬県、茨城県、 経済産業省 関東経済産業局、農林水産省 関東農政局	出展規模	320社	内容	出展企業による食材・食品の展示、試食の提供 出展企業とバイヤーの個別商談会
名称	アグリフードフェスタ2015in宇都宮														
日時	平成27年6月4日（木）10：00～16：00														
会場	マロニエプラザ（宇都宮市元今泉6-1-37）														
主催	足利銀行、群馬銀行、常陽銀行														
後援	栃木県、群馬県、茨城県、 経済産業省 関東経済産業局、農林水産省 関東農政局														
出展規模	320社														
内容	出展企業による食材・食品の展示、試食の提供 出展企業とバイヤーの個別商談会														

銀行名	足利銀行
タイトル	足尾の山への植樹活動
取組み内容	<p>NPO 法人「足尾に緑を育てる会」の協力のもと、当行新入行員と栃木県産業協議会の会員企業の新入社員と合同で、足尾の山への苗木の植樹を行っている。 平成 27 年度も 7 月 3 日に実施予定。</p> <p>平成 21 年度より当行の新入行員で実施 平成 23 年度から栃木県産業協議会の会員企業の新入社員と合同で実施</p>

銀行名	足利銀行																						
タイトル	キッズスクールの開催																						
取組み内容	<p>金融教育の一環として、地域の子どもたちに対してお金の大切さや銀行の役割を楽しく学んでいただくために、小学4年生から6年生を対象に『あしぎんキッズスクール「お金の体験学習」』を毎年開催している。</p> <p>栃木県金融広報委員会の協力による「おこづかいゲーム」や、お金に関するクイズ、銀行の仕事と役割、銀行見学などのカリキュラムを実施している。</p> <p><b>【カリキュラム】</b></p> <table border="1" data-bbox="443 667 1430 1379"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 667 608 712">時間</th> <th data-bbox="608 667 1430 712">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 712 608 757">9：30～</td> <td data-bbox="608 712 1430 757">受付開始</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 757 608 801">10：00～</td> <td data-bbox="608 757 1430 801">開校式</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 801 608 846">10：10～</td> <td data-bbox="608 801 1430 846">アイスブレイクゲーム</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 846 608 936">10：20～</td> <td data-bbox="608 846 1430 936">おこづかいゲーム (ゲームを通じてお金の使い方を学ぶ)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 936 608 981">11：50～</td> <td data-bbox="608 936 1430 981">昼食</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 981 608 1070">12：50～</td> <td data-bbox="608 981 1430 1070">お金に関するクイズ (お金の役割・お金の歴史を学び、お金の大切さを学ぶ)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1070 608 1205">13：20～</td> <td data-bbox="608 1070 1430 1205">銀行の仕事と役割 (銀行の仕事を理解して、お金の流れを学び、働くことの大切さを学ぶ)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1205 608 1294">13：50～</td> <td data-bbox="608 1205 1430 1294">銀行見学 (銀行の内側を見学して、銀行の仕事を体験する)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1294 608 1339">15：00～</td> <td data-bbox="608 1294 1430 1339">閉校式</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1339 608 1379">15：30</td> <td data-bbox="608 1339 1430 1379">解散</td> </tr> </tbody> </table>	時間	内容	9：30～	受付開始	10：00～	開校式	10：10～	アイスブレイクゲーム	10：20～	おこづかいゲーム (ゲームを通じてお金の使い方を学ぶ)	11：50～	昼食	12：50～	お金に関するクイズ (お金の役割・お金の歴史を学び、お金の大切さを学ぶ)	13：20～	銀行の仕事と役割 (銀行の仕事を理解して、お金の流れを学び、働くことの大切さを学ぶ)	13：50～	銀行見学 (銀行の内側を見学して、銀行の仕事を体験する)	15：00～	閉校式	15：30	解散
時間	内容																						
9：30～	受付開始																						
10：00～	開校式																						
10：10～	アイスブレイクゲーム																						
10：20～	おこづかいゲーム (ゲームを通じてお金の使い方を学ぶ)																						
11：50～	昼食																						
12：50～	お金に関するクイズ (お金の役割・お金の歴史を学び、お金の大切さを学ぶ)																						
13：20～	銀行の仕事と役割 (銀行の仕事を理解して、お金の流れを学び、働くことの大切さを学ぶ)																						
13：50～	銀行見学 (銀行の内側を見学して、銀行の仕事を体験する)																						
15：00～	閉校式																						
15：30	解散																						



銀行名	足利銀行
タイトル	金融経済教育への取組み ～全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」地方大会の開催～
取組み内容	<p>・25年度より、「エコノミクス甲子園」地方大会（栃木大会）を主催者として開催しており、27年度も12月13日（日）開催予定。地元高校生が金融経済に関する筆記、早押し、書き問題などクイズを通して楽しく学べる機会を提供する。</p> <p>【参加高校生人数 25年度：9校18チーム36名、26年度：9校16チーム32名】</p>